



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月8日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 壹番屋
コード番号 7630
URL <http://www.ichibanya.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浜島 俊哉
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室担当 (氏名) 阪口 裕司 TEL (0586) 81 - 0792
四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日
配当支払開始予定日 平成28年2月16日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績（平成27年6月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	22,218	1.9	2,428	3.5	2,585	6.6	1,660	10.1
27年5月期第2四半期	21,799	6.1	2,345	19.7	2,425	18.9	1,508	51.9

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 1,585百万円 (△0.6%) 27年5月期第2四半期 1,594百万円 (53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	104.05	—
27年5月期第2四半期	94.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	36,721	27,828	75.2	1,730.23
27年5月期	36,811	27,281	73.6	1,696.21

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 27,619百万円 27年5月期 27,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	35.00	—	65.00	100.00
28年5月期	—	50.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想（平成27年6月1日～平成28年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,800	1.8	4,550	△1.0	4,800	1.7	3,300	21.0	206.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期2Q	15,963,000株	27年5月期	15,963,000株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	76株	27年5月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期2Q	15,962,939株	27年5月期2Q	15,962,950株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、「添付資料」 P.4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年6月1日～平成27年11月30日）の業績は、売上高が222億18百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は24億28百万円（同3.5%増）、経常利益は25億85百万円（同6.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億60百万円（同10.1%増）となりました。

売上面につきましては、全店ベースの店舗売上高（国内）が前年同期比3.5%増、既存店ベースの店舗売上高（国内）が同3.3%増と好調に推移いたしました（後掲表1）。

国内の既存店につきましては、客数は、第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間ともに前年同期比プラス基調を維持し、当第2四半期連結累計期間で同1.0%増と堅調に推移いたしました。また、客単価につきましても、メニューブック等でトッピングを組み合わせた訴求を行ったことや、平成27年3月に一部のトッピング品を値上げしたこと等により、同2.3%増となりました。

利益面につきましては、原価の上昇や本部経費を中心に販売費及び一般管理費の増加等があったものの、国内店舗の売上増や海外部門の増収等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の各段階において過去最高益を更新いたしました。

当第2四半期連結累計期間における分野別の取り組み状況は、以下のとおりであります。

(国内CoCo壱番屋)

国内のCoCo壱番屋につきましては、引き続き「既存店の売上強化」を最重要課題に掲げ、店舗の人材確保・育成等、運営面でのレベルアップに注力した他、店舗ごとにメニュー施策や販促施策を立案・実施する「ストアレベルマーケティング」を推進いたしました。

メニュー面につきましては、夏場に恒例の「チキンと夏野菜カレー」（3ヶ月で209万食販売）や「手仕込チキンカツカレー」（3ヶ月で202万食販売）の販売が好調だった他、「辛さ」だけでなく「甘さ」も選べる仕組みを導入する等、より幅広いお客様にご利用いただけるような新しい提案を行いました。

販促活動としましては、「機動戦士ガンダム」とのタイアップキャンペーンや、今回で3回目となる、人気アイドル「SKE48」とのコラボレーションキャンペーン等、お客様の来店動機を高める取り組みを行ってまいりました。

国内の店舗数は、新規出店16店舗、退店8店舗を行った結果、当第2四半期連結会計期間末時点で、前連結会計年度末から8店舗増の1,228店舗となりました（後掲表2）。

(海外CoCo壱番屋)

海外のCoCo壱番屋につきましては、アジア地区を中心に既存エリアでの出店を拡大し、新規出店19店舗、退店10店舗を行った結果、当第2四半期連結累計期間において、9店舗増加し、152店舗となりました（後掲表3）。

なお、海外店舗は当社とフランチャイズ契約を締結した現地法人が、直営店ないしフランチャイズ加盟店（以下、FC店という）で展開しており、当社はロイヤルティーの他、一部のエリアにおいてはカレーソース販売等による収入を得ております。

(国内他業態)

パスタ・デ・ココにつきましては、あんかけパスタ以外の期間限定メニューを導入する等、顧客層を広げる取り組みを行いました。

パスタ・デ・ココの店舗数は、出店、退店がそれぞれ1店舗ずつありましたので、前連結会計年度末と比べた店舗数は増減なく32店舗となりました（後掲表2）。

麺屋ここいち、につくい亭につきましては、新規出店は行わず、個店ごとにメニューや販促方法の見直しに取り組んでまいりました。

(外販他)

当社のブランドロゴを冠したカレー味のスナック菓子やカップラーメン、冷凍食品等を食品メーカーや小売業者と共同で開発する外販につきましては、新規取引先との新たな商品の開発に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間には、「フライドチキン入りカレーラーメン」（エースコック株式会社）等、合計31種類の商品が販売されました。

なお、ハウス食品グループ本社株式会社による当社株式に対する公開買付けの成立により、平成27年12月8日をもって、当社は同社の連結子会社となりました。

現在、グループとしてのシナジー効果の発現に向けた具体的な検討に着手しており、グループ一体となって更なる成長と発展を目指してまいります。

表1 「国内店舗売上高等推移表」

(前年同期比増減率、単位：%)

	第1四半期 (H27/6-8)	第2四半期 (H27/9-11)	当第2四半期累計
全店売上高	2.6	4.6	3.5
既存店売上高	2.7	4.0	3.3
客数	0.7	1.3	1.0
客単価	2.0	2.6	2.3

(注) 店舗売上高は、直営店とFC店の売上高を合計したものであります。

表2 「国内業態別出店状況」

(単位：店)

	①新規出店数		②退店数		純増店舗数		平成27年11月末店舗数	
	内、直営		内、直営		①-②	内、直営		内、直営
CoCo壱番屋	16	10	8	4	8	△3	1,228	180
パスタ・デ・ココ	1	1	1	1	0	0	32	25
麺屋ここいち	—	—	—	—	—	—	7	5
につくい亭	—	—	—	—	—	—	2	2
合計	17	11	9	5	8	△3	1,269	212

(注) CoCo壱番屋で、直営店からFC店への譲渡を9店舗実施しております。

表3 「海外国別出店状況」

(単位：店)

展開 エリア	①新規 出店数	②退店数	純増 店舗数 ①-②	平成27年11月末 店舗数
米国(本土)	—	—	—	4
香港	1	—	1	8
タイ	4	1	3	25
台湾	2	3	△1	26
韓国	2	2	0	24
中国	7	4	3	47
米国(ハワイ)	—	—	—	5
シンガポール	1	—	1	5
インドネシア	—	—	—	3
マレーシア	—	—	—	2
フィリピン	2	—	2	3
合計	19	10	9	152

(注) 海外店舗は、当社とフランチャイズ契約を締結した現地法人等が、直営店ないしFC店で展開しております。なお、米国(本土)及び香港の現地法人は、当社の連結子会社であります。

なお、当社グループにおいては、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は367億21百万円となり、前連結会計年度末比90百万円減少いたしました。このうち流動資産は181億93百万円となり、現金及び預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比1億69百万円増加いたしました。また固定資産は185億27百万円となり、前連結会計年度末比2億59百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物が減損損失の計上などにより減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は88億92百万円となり、未払金の減少などにより、前連結会計年度末比6億37百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は278億28百万円となり、前連結会計年度末比5億47百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末の73.6%から75.2%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加し、135億63百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、19億77百万円(前年同期は18億94百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益24億88百万円の計上、減価償却費6億58百万円、減損損失1億31百万円の非現金支出費用があった一方で、法人税等の支払9億41百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、6億5百万円(前年同期は1億73百万円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出7億29百万円や有価証券の取得による支出129億97百万円などがあった一方で、店舗売却による収入1億88百万円や有価証券の償還による収入130億円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、12億11百万円(前年同期は7億89百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払額10億37百万円があったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は平成27年12月24日、最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月24日に公表しました当初の業績予想を修正いたしました。

① 平成28年5月期 通期連結業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	43,900	4,440	4,610	2,810
今回発表予想(B)	44,800	4,550	4,800	3,300
増減額(B-A)	900	110	190	490
増減率	2.1%	2.5%	4.1%	17.4%

② 平成28年5月期 通期個別業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	42,300	4,480	4,640	2,850
今回発表予想(B)	43,300	4,590	4,830	3,330
増減額(B-A)	1,000	110	190	480
増減率	2.4%	2.5%	4.1%	16.8%

③ 修正の理由

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初の予想を上回る見込みであります。

個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様の理由で修正いたしました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,680,462	13,839,566
売掛金	2,679,126	2,621,274
商品及び製品	628,361	671,963
仕掛品	16,738	27,951
原材料及び貯蔵品	203,715	232,161
繰延税金資産	211,392	182,203
その他	604,348	618,529
流動資産合計	18,024,145	18,193,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,067,959	5,962,575
機械装置及び運搬具(純額)	685,179	844,960
土地	5,499,489	5,512,317
リース資産(純額)	845,313	805,984
建設仮勘定	255,160	74,012
その他(純額)	325,582	369,681
有形固定資産合計	13,678,684	13,569,532
無形固定資産	283,039	296,465
投資その他の資産		
投資有価証券	2,269,320	2,146,125
繰延税金資産	448,584	521,708
差入保証金	1,700,872	1,615,725
その他	449,576	419,948
貸倒引当金	△42,470	△41,693
投資その他の資産合計	4,825,882	4,661,814
固定資産合計	18,787,607	18,527,812
資産合計	36,811,753	36,721,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,200,451	2,285,778
未払金	1,375,676	1,181,168
未払法人税等	978,396	878,863
賞与引当金	305,730	276,072
株主優待引当金	94,647	95,862
資産除去債務	5,535	—
その他	935,677	586,902
流動負債合計	5,896,116	5,304,647
固定負債		
リース債務	577,255	549,606
退職給付に係る負債	464,165	470,138
債務保証損失引当金	8,650	6,380
長期預り保証金	2,059,276	2,037,681
資産除去債務	416,414	420,157
その他	108,437	104,028
固定負債合計	3,634,199	3,587,992
負債合計	9,530,316	8,892,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503,270	1,503,270
資本剰余金	1,388,470	1,388,470
利益剰余金	23,658,337	24,281,657
自己株式	△101	△239
株主資本合計	26,549,975	27,173,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399,783	316,084
為替換算調整勘定	124,235	122,949
退職給付に係る調整累計額	2,455	7,278
その他の包括利益累計額合計	526,474	446,313
非支配株主持分	204,987	209,351
純資産合計	27,281,437	27,828,823
負債純資産合計	36,811,753	36,721,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	21,799,660	22,218,148
売上原価	11,427,150	12,028,674
売上総利益	10,372,510	10,189,474
販売費及び一般管理費	8,026,826	7,761,337
営業利益	2,345,683	2,428,136
営業外収益		
受取利息及び配当金	31,546	95,225
受取家賃	333,392	345,484
その他	27,725	52,061
営業外収益合計	392,663	492,771
営業外費用		
支払利息	6,029	5,858
賃貸費用	293,768	302,109
その他	13,373	27,074
営業外費用合計	313,172	335,043
経常利益	2,425,175	2,585,864
特別利益		
店舗売却益	102,039	53,351
受取補償金	29,797	—
その他	—	3,011
特別利益合計	131,836	56,363
特別損失		
固定資産除却損	14,311	21,085
減損損失	177,036	131,367
その他	4,433	1,514
特別損失合計	195,782	153,967
税金等調整前四半期純利益	2,361,229	2,488,260
法人税、住民税及び事業税	911,028	829,329
法人税等調整額	△54,222	△6,714
法人税等合計	856,806	822,615
四半期純利益	1,504,422	1,665,645
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,730	4,732
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,508,153	1,660,912

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	1,504,422	1,665,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,999	△83,698
為替換算調整勘定	40,818	△1,653
退職給付に係る調整額	6,882	4,823
その他の包括利益合計	89,700	△80,529
四半期包括利益	1,594,123	1,585,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,588,716	1,580,751
非支配株主に係る四半期包括利益	5,406	4,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,361,229	2,488,260
減価償却費	636,641	658,150
減損損失	177,036	131,367
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,839	△29,658
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31,630	13,071
受取利息及び受取配当金	△31,546	△95,225
支払利息	6,029	5,858
売上債権の増減額(△は増加)	△20,060	57,870
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147,055	△83,290
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,088	85,386
その他	△110,381	△399,837
小計	2,885,274	2,831,954
利息及び配当金の受取額	30,062	92,702
利息の支払額	△6,417	△5,858
法人税等の支払額	△1,014,326	△941,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,894,592	1,977,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26,722	△157,002
定期預金の払戻による収入	26,720	157,000
有価証券の取得による支出	△5,998,515	△12,997,476
有価証券の償還による収入	6,000,000	13,000,000
有形固定資産の取得による支出	△574,077	△729,490
店舗売却による収入	456,537	188,513
その他	△57,575	△66,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,635	△605,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△638,518	△1,037,591
その他	△151,027	△174,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△789,545	△1,211,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,406	△557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	951,817	159,514
現金及び現金同等物の期首残高	11,284,244	13,403,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,236,061	13,563,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月26日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が1,037,591千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年8月26日 定時株主総会	普通株式	1,037,591	65	平成27年5月31日	平成27年8月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社の異動について)

ハウス食品グループ本社株式会社(以下「公開買付者」といいます。)が平成27年11月2日から実施してまいりました当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)が、平成27年12月1日をもって終了いたしました。

本公開買付けの結果、平成27年12月8日をもって、公開買付者が当社の親会社に該当することとなりました。

1. 本公開買付けの結果について

本公開買付けは、平成27年12月1日をもって終了し、公開買付者により平成27年12月2日付で公開買付報告書(以下「本公開買付報告書」といいます。)が提出されました。

本公開買付報告書によれば、本公開買付けに対して、当社株式6,017,932株の応募があり、公開買付者は5,021,100株の買付けを行いました。

この結果、公開買付者の所有する当社株式に係る議決権の合計が、当社の総株主等の議決権の50%超となることから、公開買付者は、新たに当社の親会社に該当することとなりました。

2. 親会社の異動について

異動年月日

平成27年12月8日(本公開買付けの決済開始日)